

第1回歯科情報の利活用に関するワーキンググループ	参考資料2
平成30年2月15日(木)	
第1回歯科情報の利活用および標準化普及に関する検討会	資料2
平成29年7月19日(水)	

平成29年度厚生労働省委託事業 「歯科情報の利活用及び 標準化普及事業」

歯科情報の利活用及び標準化普及に関する検討会
(第1回)

日時:平成29年7月19日(水)15:00

場所:中央合同庁舎第4号館

公益社団法人 日本歯科医師会

歯科診療情報の標準化(平成25年度～27年度)

25年度

歯牙特徴に基づく**26項目(標準プロファイル)**を策定し、この情報を用いた場合、身元確認において極めて高精度に絞り込みが可能であることを実証

26年度

標準プロファイルを基礎とし、意見聴取をもとに考察しながら、標準的な口腔内所見を**階層構造**に整理して再定義し、各項目の意味の明確化と今後の拡張性を確保した(多様な情報粒度に対応可能)

No.	項目	記号	No.	項目	記号
1	乳歯	Dcd	14	全部金属冠(FMCほか)	FMC
2	健全歯	Sou	15	前装冠(HR, MBほか)	HR
3	C1～C3(治療中を含む)	C123	16	HJC, セラミックほか	HJC
4	半埋伏・埋伏	RT	17	支台歯(インプラントも可)	Abu
5	CR充填, セメント充填ほか	CR	18	ボンティック	Pon
6	インレー, アンレー, 金属色	In	19	残根・根面版ほか	C4
7	3/4, 4/5 冠, 歯冠色	InTC	20	欠損	MAM
8	アマルガム充填	AF	21	死後脱落の疑い	MPM
9	部分修 切端・咬合面	IO	22	義歯(人工歯あり)	Den
10	復の高 唇側面・頬側面	B	23	インプラント	Impl
11	洞・被 口蓋側面・舌側面	PL	24	仮歯(TEK, プロビ等)あり	TeC
12	形態 近心面	M	25	歯牙あり(状態は不明)	Pre
13	(金属修復物のみ) 遠心面	D	26	情報なし	Non

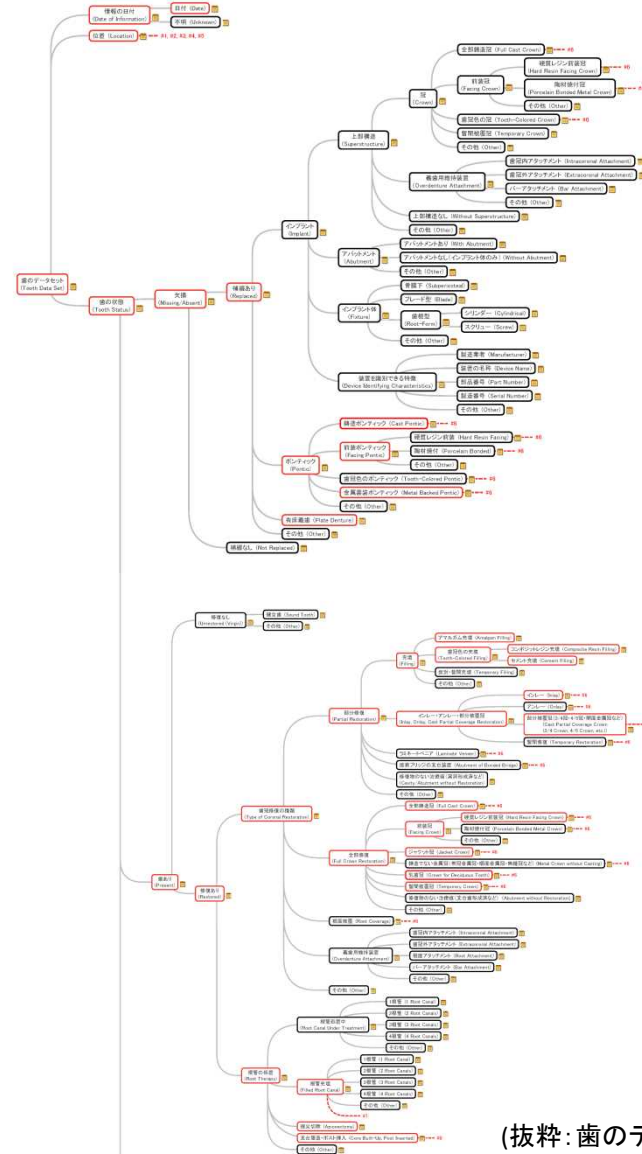
図表1 口腔診療標準データセット 2015.3.24版

The image shows a complex spreadsheet titled '図表1 口腔診療標準データセット 2015.3.24版'. It displays a hierarchical tree structure of dental conditions and treatments. The root level includes categories like '乳歯' (Primary teeth), '健全歯' (Healthy teeth), and 'C1~C3'. Subsequent levels provide more detailed descriptions, such as '全部金属冠(FMCほか)', '前装冠(HR, MBほか)', and 'HJC, セラミックほか'. The spreadsheet uses color-coding (yellow and white) to distinguish between different levels and categories of data. A legend or key is visible at the bottom right of the spreadsheet area.

歯科診療情報の標準化(平成25年度～27年度)

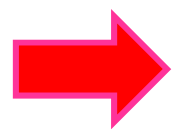
27年度

災害時等における歯科診療情報消失のリスクを踏まえ、包括的なバックアップとして、より多くの情報を保存することも考慮しながらデータセットを拡張。日本の保険診療をもとに、且つ海外との歯科情報との整合性、互換性も考慮した「**口腔状態の標準データセット**」を策定



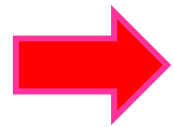
平成28年度実証事業の課題

① 歯科診療情報のデジタル出力（標準化）



電子カルテ等から統一された基準に準じた歯科診療情報をデジタルデータとして出力する。

② 歯科診療情報の保存



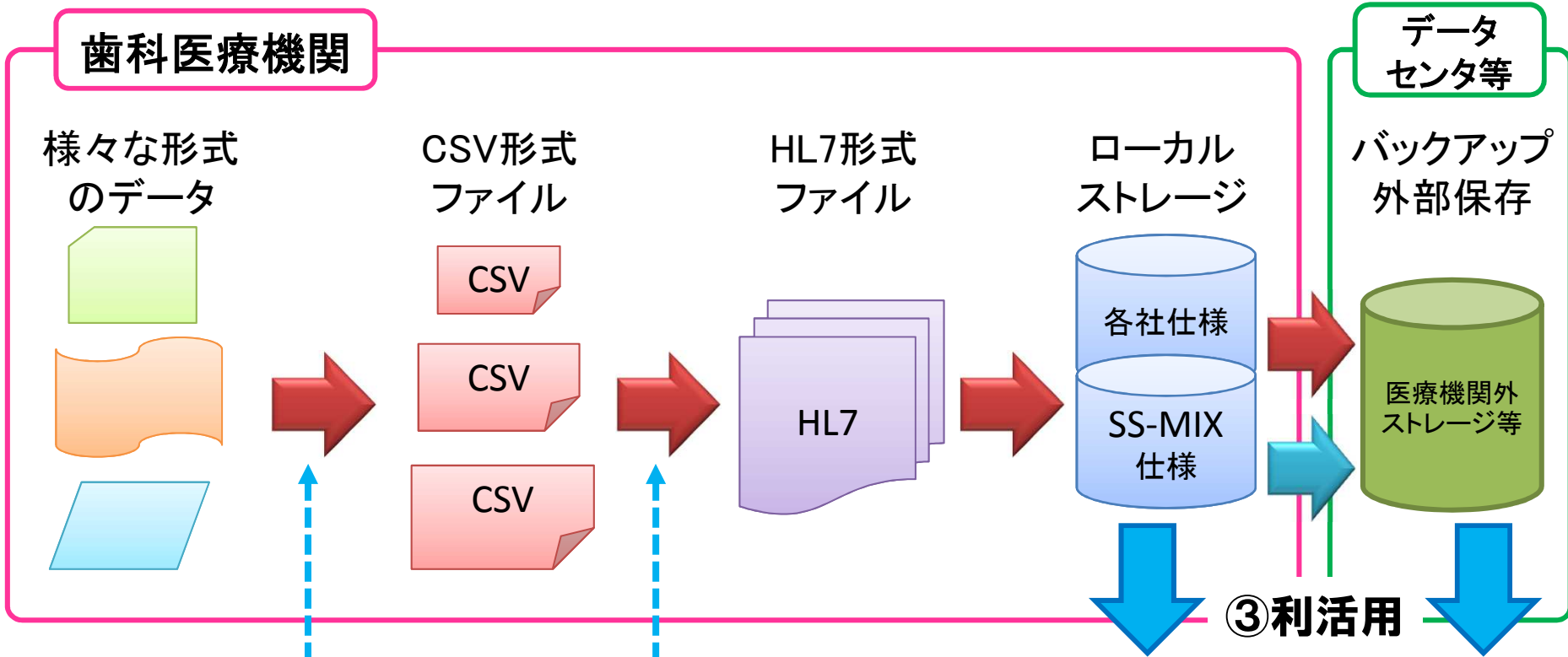
災害等で歯科医療機関が損壊した際に、歯科診療情報の保全を図る。

③ 歯科診療情報の利活用



身元確認を筆頭に、歯科診療情報の利活用方法を検討する。

平成28年度実証事業の概要



【出力プログラム】
「口腔診査情報コード仕様」を基にデータを変換する。出力はCSVファイル、統一コード。

【コンバータ】
「CSV形式ファイル」を「HL7形式ファイル」に変換する。SS-MIXに対応可能。

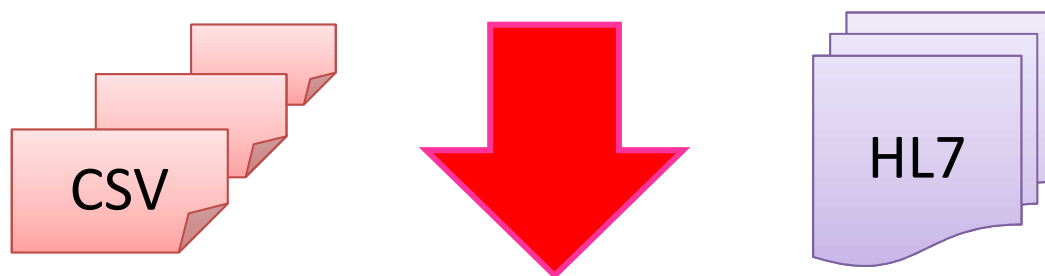
【データの利活用検討】

- ・身元確認・検索
- ・医療情報データベース
- ・医療連携等のネットワーク活用
- ・医療情報の一元化

① 歯科診療情報のデジタル出力(標準化)

成果

- 「口腔診査情報コード仕様」及びそれに基づいたCSV出力プログラム
- 「口腔診査情報CSV形式データからHL7への変換仕様」及びそれに基づいたコンバータ



これらにより電子カルテ等に保存されている歯科診療情報をHL7形式に変換することが可能となった。

① 歯科診療情報のデジタル出力(標準化)

課題

- 「口腔診査情報コード仕様」の修正とそれに伴うCSV出力プログラム及びコンバータの修正
 - ★ CSV出力プログラムの開発に際し、仕様の問題点が明らかとなり、細部の修正が必要
- 「口腔診査情報コード仕様」に基づいたCSV出力プログラム開発に携わっていないベンダーからの要望
 - ★ ベンダーにより電子カルテ等の表示形式や対応可能な範囲が異なる

② 歯科診療情報の保存

保存方法

- HL7形式のファイルをSS-MIXのフォルダ構造に準じてローカルストレージ(医療機関内HD等)に保存する。
- ローカルストレージ内のデータを歯科医療機関外ストレージ(データセンタ等)に保存する。



② 歯科診療情報の保存

課題

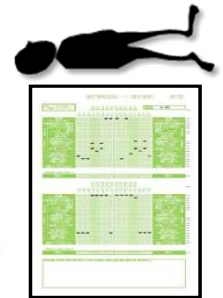
- 歯科診療情報管理者が災害等により行方不明もしくは死亡した際の対応（歯科診療情報の所有権）
- 大規模災害時に備え、一定の機関（国、地方公共団体）等が歯科情報を保存し、身元検索に使用できる仕組みの構築（法的整備含む）



③ 歯科診療情報の利活用

身元確認

- 従来と同様、警察からの照会に対し、歯科医療機関が個別にて対応を行う。
- 歯科診療情報の標準化（生前及び死後）を普及させることにより、身元確認作業の効率化・迅速化を図る。



③ 歯科診療情報の利活用

課題（身元確認に係る利活用）

- 身元不明者の生前歯科診療情報が入手困難な際の対応
- 国民や医療従事者への理解及び周知

課題（身元確認を含め、それ以外の利活用）

- 国民や医療従事者にとって必要とされる歯科情報の利活用方法
- 個人情報の取り扱い



平成29年度事業の概要

(1)「平成28年度歯科診療情報の標準化に関する
実証事業」における**未完了部分の実施**

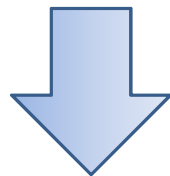
(2)診療情報共有を目指した**モデル地区展開**

(3)モデル地区展開を踏まえた「**口腔診査情報コード
仕様**」と出カプログラムの検証

(4)**厚生労働省標準規格の取得に向けた検討**

事業(1)

「平成28年度歯科診療情報の標準化に関する
実証事業」における**未完了部分の実施**



平成28年度実証事業の積み残しの課題を進める

▽「口腔診査情報コード仕様」の修正

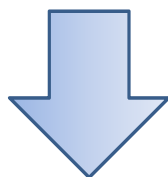
(解釈が異なる点の統一)

▽「口腔診査情報コード仕様」のビジュアル化

(Webアプリによるデータ読み込みまたは修正)

事業(2)

診療情報共有を目指した**モデル地区展開**



(1)を踏まえて、

「口腔診査情報コード仕様」に準拠した診療情報共有環境の構築及びモニタリング(歯科医療機関での実証)を**2地区程度**で実施

事業(3)

モデル地区展開を踏まえた

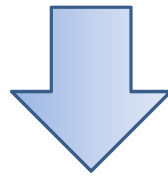
「口腔診査情報コード仕様」と出力プログラムの検証



- ◎(2)の結果の検証に基づく、
「口腔診査情報コード仕様」と出力プログラムの
修正
- ◎歯科情報の保管場所や保存方法等について、
法律との整合性を含めて改めて検証
- ◎歯科医療機関への普及策の検討

事業(4)

厚生労働省標準規格の取得に向けた検討



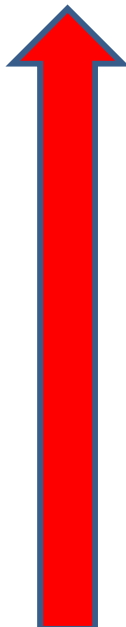
事業(1)～(3)と並行して、

◎厚生労働省標準規格の取得に向けて、HELICS
協議会に提案する準備を進める。

◎国民及び医療従事者への理解・協力を促すための
啓発方法等についても検討する。

平成29年度事業の実施体制

歯科情報の標準化普及事業WG

- 
- 歯科医師会関係者
 - 医療情報分野の専門家
 - 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）
 - 医療情報システム開発センター（MEDIS）
 - 歯科レセコン開発者
 - 弁護士 等

タスクフォース

※メール会議、WGメンバーから選定